



第 471 回つくば分子生命科学セミナー

TSUKUBA MOLECULAR LIFE SCIENCE SEMINAR

演題：マウスモデルを用いた消化管癌起源細胞と周囲微小環境の解析

演者：早河 翼 先生

東京大学医学部附属病院 消化器内科 講師

日時：2023年7月13日（木） 17:00-18:30

会場：医学系棟 483 室

要旨：

消化管粘膜は腺管中の上皮幹細胞により維持されている。これまでに、各臓器中の幹細胞を選択的に標識するマーカーが多数報告され、幹細胞を支持する周囲間質の幹細胞ニッチについてもその種類や機能が明らかになってきた。胃や大腸は癌の好発部位であり、臓器中の慢性炎症が発癌リスクを大きく上昇させることが知られている。急性・慢性炎症の過程では消化管幹細胞と幹細胞ニッチに様々な異常が生じており、これが疾患の発生に密接に関連していると考えられている。本セミナーでは、様々な遺伝子改変マウスを用いた胃・大腸疾患の病態メカニズム解明の試みについて、過去に発表した研究内容を中心に概説する。

参考文献

1. Hata M. et al. Gastroenterology. 2020 May;158(6):1650-1666.e15.
2. Hayakawa Y. et al. Gastroenterology. 2019 Mar;156(4):1066-1081.e16.
3. Hayakawa Y. et al. Cancer Cell. 2017 Jan 9;31(1):21-34.
4. Westphalen Benedikt C. et al. J Clin Invest. 2014 Mar;124(3):1283-95.

* 医学セミナーと共催です。

本セミナーは、生命システム医学専攻&疾患制御医学専攻&医学学位プログラム（博士）「医学セミナー」（担当：専攻各教員）、及びフロンティア医科学専攻&フロンティア医科学学位プログラム（修士）「医科学セミナーII」（担当：入江賢児）の関連セミナーに相当します。HBPとも共催になっています。

連絡先：筑波大学医学医療系 高橋 智（内線 7516、satoruta@md.tsukuba.ac.jp）

【筑波分子医学協会（TSMM）主催】HP <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tsmm/>

協会代表：筑波大学医学医療系 川口敦史 TSMM セミナー担当：筑波大学医学医療系 福田 綾